

町民の皆さまへのお願い

# 五所川原商業高等学校生徒の下宿先を募集します

令和5年4月に旧青森県立鶴田高等学校に移転した五所川原商業高等学校は、令和6年4月より普通科を増設し、下山学園高等学校に校名を変更することが予定されており、生徒を全国から募集します。

少子化による地元からの進学者が減少する中、  
県外からの生徒が増えることで町の活性化が期待できます。

## 地元から高校がなくなると……

- ・ 中学卒業生の進路範囲の限定化
- ・ 他市町村への進学による保護者の費用負担増加と人口流出 など

地域活力の低下や衰退を招き、直接的・間接的な影響は計り知れません。

### ▼下宿先の募集について

町では、町外から五所川原商業高等学校へ入学する生徒を受け入れてくださる下宿先の募集をします。  
全国募集の実施にあたり、生徒の生活環境を整備することは、見知らぬ土地で高校生活を過ごす生徒や保護者の安心を守るために必要不可欠です。

### 【下宿先の必要条件】

- 生徒1名につき1部屋を提供できること
  - ・ 広さは6畳程度以上
  - ・ エアコン完備
- 朝・夕食（必要に応じて昼食）を提供できること
- トイレ・浴室などの共用スペースを利用できること
- 掃除機や洗濯機等、家電を利用できること
- 基本的な生活習慣について指導し、生徒の健康・安全面に配慮ができること

町で唯一の高等学校を盛り上げ、  
未来に向けて頑張る  
高校生を応援しよう！



■問い合わせ先：鶴田町教育委員会 学務総務班 ☎：0173-22-2111（内線213・214）

【有料広告】

現金買取 鉄・非鉄・農機具類  
株式会社 高橋商事 五所川原営業所

引取りもご相談ください

つがる市柏鷺坂清見 71-16



TEL 0173-26-7576



## 五所川原商業高校がフットリバー=バレ=高校と姉妹校締結

五所川原商業高校（下山美智子校長）が10月17日、アメリカのオレゴン州フットリバー市にあるフットリバー=バレ=高校と姉妹校の盟約を結びました。バレ=高校とはこれまで、今年の3月に閉校した鶴田高校が姉妹校でしたが、商業高校がこれを継承しました。

バレ=高校で行われた締結式には、鶴田側から相川町長や商業高校の藤田教頭らが出席。下山校長があらかじめサインした協定書にバレ=高校のコロンバ・ジョーンズ校長がサインを行い、姉妹校の協定を締結しました。

商業高校は今回の姉妹校締結を契機に、フットリバー市へのホームステイやオンラインをつかった交流などを計画しています。



△姉妹校の盟約を結んだ商業高校とバレ=高校の関係者

## 町特産の「スチューベン」が旬を迎えました♪



### 中学生がスチューベンの収穫を体験

地元特産品の「スチューベン」について学んでいる鶴田中学校1年生が町農家の園地を訪れ、スチューベンの収穫を体験しました。

鶴田中学校では総合的な学習の一環としてスチューベンについて学んでいて、6月にはぶどうの大きさを整える房作りを行いました。生徒たちは生産者から収穫方法を教わり、さっそく収穫作業に挑戦。自分たちが育てたスチューベンの茎の部分を手で切り取ってから、割れたり、いたんだりしているブドウの実をピンセットで取り除き、カゴに集めていました。



△生産者から収穫方法を教わる鶴中생

### 宮下知事にスチューベンをPR

10月4日（水）、相川町長と津軽ぶどう協会（太田吉信会長）が県庁を訪問し、宮下知事に今年度産のスチューベンの生産状況報告やスチューベンぶどう祭りのPRを行いました。

今年度産のスチューベンについて、太田会長は「今年は雨が少なかったので、甘さが凝縮されたおいしいブドウができました」と報告しました。

今年度産のスチューベンを試食した宮下知事は「止まらないおいしさ。私自身も、いろんなところでPRをしていきたい」と話していました。



△宮下知事を表敬訪問した相川町長とぶどう協会の会員ら

### 今年も開催！スチューベンぶどう祭り

町が作付け面積・生産量ともに日本一を誇る特産のスチューベンを味わってもらおう「第11回スチューベンぶどうまつり」が、10月7日・8日に道の駅つるたで開催されました。

祭りでは贈答用のほか、流通には向かない規格外品を家庭用として特別価格で販売され、訪れた人々は旬を迎えたスチューベンを買い求めていました。このほか恒例のスチューベンをまるごと一房使った生搾りジュースの販売が行われ、販売開始から行列が絶えない人気でした。



△多くの方が訪れたスチューベンぶどう祭り